

みんなで語り、伝えよう！ 夙川物語

夙川散策マップ

巡って学ぼう！

六甲山地の自然と神秘

六甲山地の自然を楽しみながら、六甲山地の不思議に触れ、素晴らしいさを知り、安全について考えてみよう！



散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「夙川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。



より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先

は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



守って欲しいこと
家族など大人と一緒に山を登りましょう！
登山する時の服装と準備するもの

1. 服装
動きやすい服装で、はきなれた運動靴や登山靴をはきましょう！

2. 準備するもの
 ○地図（必需品） ○リュックサック
 ○雨具（カッパ） ○水
 ○おむすびやパンなどの食料
 ○あめやチョコレートなどの行動食
 ○方位磁針（コンパス） ○筆記用具
 ○カメラ …など

3. 注意事項
 ○山で火を使わない！ ○ゴミは持ち帰る！
 ○動物にえさをやらない！
 ○とっていいのは写真だけ、草花などは採取しないで観察しましょう！
 ○マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意！

マップの見方

- 【見学ポイント】**
- 「不思議」に触れる見学ポイント
 - 「素晴らしいさ」を知る見学ポイント
 - 「安全」を考える見学ポイント
 - 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント
- 【移手段】**
- 徒歩（分：矢印間の移動時間の目安）
- 【その他】**
- 駅
 - ⊗ 学校
 - ≡ 鉄道
 - トイレ
 - ◆ 刻印石

散策ポイント

- ★ **スタート** 阪急苦楽園駅
- 1 夙川上流緑道 約0.8km 約15分
 - 2 越木岩えん堤 約0.3km 約5分
 - 3 水分谷えん堤 約0.3km 約5分
 - 4 どんぐりの森づくり 約0.2km 約5分
 - 5 ロックヒル（六甲平坦面の眺め） 約0.7km 約30分
 - 6 北山貯水池 約1.6km 約35分
 - 7 神呪寺（甲山大師） 約0.5km 約15分
 - 8 甲山 約0.3km 約15分
 - 9 地すべり資料館 約2.2km 約45分
 - 10 甲山大師道の道標（甲山大師道・甲陽園通り） 約1.0km 約20分
 - 11 目神山 約0.4km 約10分
 - 12 亀石 約0.3km 約10分
- ★ **ゴール** 阪急甲陽園駅 約0.6km 約10分

【問合わせ先】
国土交通省 六甲砂防事務所
住所：〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
電話：078-851-0535
ホームページ：http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/

めぐまなろっこうさんちしぜんしんぴ 巡って学ぼう！六甲山地の自然と神秘 (ポイントの紹介)

実際に見学した箇所の「印」にチェックをしよう！
印横の数字は「冊子」の関連ページです。

夙川上流緑道

□26,30-32,63P

夙川の河川敷は公園として整備され、桜なみ木と松林は昔ながらの美しさを今に伝えています。夙川公園沿いの歩道のうち、越木岩橋から上流の銀水橋までを「夙川上流緑道」といいます。



夙川公園の道には、すてきな名前が付いているんだよ！

ロックヒル(六甲平坦面の眺め)

□15,47P

六甲山地の南斜面には急斜面があり、急斜面と急斜面の間に、平坦な面が見られます。こうした地形は、六甲山地が断層運動を繰り返し、平原が盛り上がりつつあることを物語っています。北山公園のロックヒルからはその様子を見ることができます。



北山公園から西宮市内をながめられるよ！

甲山

□3,6,9,19,20P

甲山は、標高309.4mの美しい曲線の山です。名前の由来は、「兜」の形に似ているからという説や、「神の山」と呼ばれていたものが長い間をかけて「神山」になり「甲山」になったともいわれています。自然と歴史を身近に感じられる西宮のみどりのシンボルです。



甲山は西宮のみどりのシンボルだよ！

亀石

□21P

山王公園入口近くの道路わきに、通称で「亀石」と呼ばれている「矢穴石」があり、石の上部に刻印があります。矢穴石とは、大坂城の石垣に利用する石を探るとき、割りたいところに沿って穴をあけた割る前の石のことです。亀の甲羅の模様に似ています。



採れた石には、刻印があるんだ！
どうしてかな？

越木岩えん堤・水分谷えん堤

□89P

土砂災害から私たちの街を守る砂防施設で代表的なものが砂防えん堤です。昭和13年（1938年）の阪神大水害をきっかけに、国が六甲山地の砂防事業を直接行うようになり、夙川では、昭和14年（1939年）に越木岩えん堤が最初に整備されました。

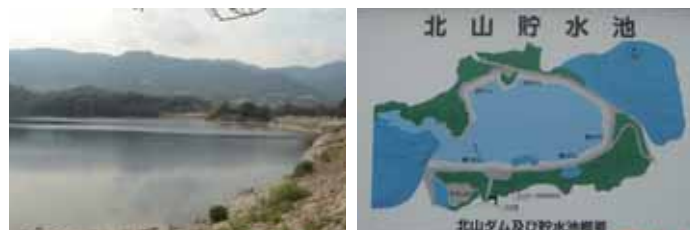


砂防えん堤の仕組みって、知ってる？

北山貯水池

□45P

北山貯水池は昭和43年（1968年）に完成し、水は飲料水として利用されています。自然豊かで野鳥が多く、姿の美しい甲山を湖面にうつし、池のまわりの道路は甲山森林公園や北山公園、神呪寺、鷲林寺を通り、散策やハイキングに最適な場所です。



北山貯水池の水も仁川から引いているんだよ！

地すべり資料館

□77P

仁川百合野町では、阪神・淡路大震災によって、大きな土砂災害の被害が発生しました。地すべりは、幅約100m、長さ約100mで、深さ15mにもおよびました。この資料館では、土砂災害や地すべり対策について学ぶことができます。



仁川百合野町地すべり資料館では、地すべりの対策が見られるよ！

甲山周辺の植物

甲山周辺では、1年を通じて四季折々の植物が見られます。



どんぐりの森づくり

□93,97-100P

森は地表をしっかりと安定させて、斜面が崩れたり、土砂が流れてたりするのを防ぐ重要な役割を果たしています。北山公園周辺では、むきだしの山はだを守る取り組みとともに、どんぐりによる森づくりを進めています。（六甲山系グリーンベルト整備事業）



グリーンベルトって、どんな森づくりを目指しているの？

神呪寺(甲山大師)

□3P

甲山のふもとにある神呪寺は、真言宗の寺院で、「西の高野」ともいわれています。本尊である「如意輪観音像」は弘法大師（空海）によって作られたともいわれています。甲陽園通りと甲山大師道の交差点に甲山大師道を示す道標が立っています。



自神山

□19P

自神山の頂上付近の岩場は、花こう岩できていますが、地面や岩に一定方向で斜めに走るラインが見られます。花こう岩質マグマが冷えていったとき、最後に残った液が、すでに冷えかけた花こう岩の割目に入り込み、比較的速く冷え固まった細粒花こう岩が、ラインの正体です。

自神山では、ラインが入った花こう岩が見られるよ！

砂防えん堤の仕組み

砂防えん堤は、山から流れ出した土砂を一時受け止め、下流に一気に流れないようにします。その後、たまった土砂を少しずつ下流へ流します。

